

特集

8月開催のたんぼぼは、夏休み期間中の開催ということもあり、小学生までの兄弟・姉妹も参加できます。今回は初めての試みとして、お楽しみ会を開催しました。手塚さんは「社会福祉協議会などの意見を参考にしながら、



前列中央が手塚さん。その右隣が阿達さん。地区の民生・児童委員も手伝いに訪れます

子育てサロン「たんぼぼ」は、偶数月の第3木曜日に荻島地区センターで0歳〜3歳児を対象に開かれています。「子育て中のお母さん方に交流の場を、子どもたちに安全で安心な遊び場を提供することを目的に平成19年に始まったのがたんぼぼです」そう話すのは、荻島地区主任児童委員で子育てサロン「たんぼぼ」代表の手塚麻美さん。主任児童委員は、主に子どもの福祉に関する取り組みを行い、子どもの健全育成、不登校やいじめ問題、児童虐待への対応などの活動を行っています。



広いホールでは、子どもたちが元気いっぱい走り回ります

一緒にサロンを運営している主任児童委員の阿達富美子さんと構成を練りました。持ち帰ってもらえるおもちゃを作ったり、遊びを考えたり。心配もありませんが、楽しんでもらえたよううれしかったです。これから楽しんでもらえるようなものにしていくか、と考えるワクワクします」と意気込みを話してくれました。子どもたちの笑顔を楽しみにしながら、保護者へのサポートも大切に行っている手塚さん。「時にはお母さん同士の交流に入ってお話を聞いたりしています。皆さんに満足してもらえよう環境づくりに努めていますので、ぜひ訪れてもらえればと思います」



平井美子さん・希美ちゃん

今回、お楽しみ会ということで初めて参加してみました。子どもはふだん、こんなにたくさんのおもちゃと触れ合うことがないので、いい刺激になったと思います。また参加してみたいです。



須藤睦大さん・ゆかりさん
光希ちゃん

子どもが4カ月のころから毎回参加しています。長く参加することで子どもの成長が見え、「こんなことができるようになった」と気付ける喜びがあります。また、親同士もつながりができるので、近所こういう交流の場があると助かります。

参加してみたいか？

親子、それぞれの交流の場つくり

荻島地区子育てサロン「たんぼぼ」

こんな活動もしています

民生・児童委員は、支援が必要な方の見守りや相談援助のほかに、住民の福祉の向上等につながるさまざまな活動を行っています。今回はその中から、荻島地区と大袋地区の活動の一部をご紹介します。

特集

民生委員制度
100周年

いつもあなたのそばに これからも地域のために

民生委員・児童委員

近年、少子高齢化、核家族化などにより、地域における人と人とのつながりの希薄化が進んでいます。その中で、社会的孤立や貧困、虐待、引きこもり等、複雑・多様な問題を抱えている方が増えている状況にあります。また一方で、全国で多発する大規模な自然災害などへの備えとして、地域の住民同士で支え合い、補い合う仕組みづくりが求められています。

地域でのつながりや支え合いの重要性が高まっている中、地域を支える民生委員・児童委員の役割は一層重要なものとなり、今後、ますますの活躍が期待されています。今号では、市民の皆さんが安全・安心に暮らすことと暮らせるまちの実現に向け取り組む、民生委員・児童委員の活動などを紹介します。



救急医療情報キットを手渡す民生委員・児童委員 (救急医療情報キットについては、7ページをご参照ください)

民生委員・児童委員とは

地域の住民の中から選ばれます

民生委員・児童委員(以下「民生・児童委員」という)は、住民の立場に立って、住民一人一人が安心して住み続ける地域づくりを支える、まちの福祉を担うボランティアです。厚生労働大臣から委嘱されて活動しています。その中でも、主に子どもや子育てに関する支援に取り組む委員を主任児童委員といいます。

民生・児童委員は、自治会の推薦などにより地域住民の中から選ばれます。現在、全国で約23万人、越谷市では400人以上の委員が活動しています。

主な活動は 見守り、支え、つなぐことです

見守る

1人暮らしの高齢者や障がいのある方、子育て世帯などを見守り、援助が必要な方を把握します

支える

地域の皆さんの身近な相談役として寄り添い、悩みや心配なことなどがあれば、親身に相談に乗ります

つなぐ

援助が必要な方と、行政や専門機関をつなぐパイプ役を果たします。社会福祉制度やサービスについて情報提供を行い、問題解決のお手伝いをします

こんなときはご相談ください

※高齢の方

- これからの介護に不安がある
- 1人暮らしで心細い
- 寝たきりになったらどうしよう

※心身に障がいのある方

- 福祉制度がよく分からない
- 施設の入所や通所、サービスについて知りたい

※生活に困りの方

- 金銭的な余裕がなくて病院を受診できない
- 教育費などで今後の生活が心配

※お子さんについて

- 子育てについて相談相手ほしい
- 不登校やいじめが心配
- 夜、小さい子どもが1人で歩いているのを見かけた

このほか、近所で困っている人がいるけれどなかなか声がかけられない、という場合も民生・児童委員にご相談ください。

*民生・児童委員、主任児童委員には、法律によって人権とプライバシーを尊重し、秘密を保持する守秘義務があります。安心してご相談ください



民生委員・児童委員のマーク。幸せのめばえを示す四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルのハトをかたどって、愛情と奉仕を表しています

特集

私が最初に民生・児童委員の委嘱を受けたのが昭和55年の7月なので、今年で37年目になります。民生・児童委員は地域の実情に詳しいことが望まれますが、もともと郵便局員をしていて、仕事柄、地域の方々と対面する機会が多かったこともあり、スムーズに活動を始めることができました。

越谷市には13の地区があり、それぞれの地区ごとに地区内の民生・児童委員で構成する民生・児童委員協議会が設置されています。それぞれの地区に会長・副会長がいますが、ほぼ毎月1回は集まって情報交換を含む勉強会(定例会)を行っています。これは、地区ごとに住民の世帯構成などが異なるため、民生・児童委員全体としての活動の足並みがそろっていない部分を補うためです。越谷市に住むすべての方が、安心して生活できるように、皆さん熱心に活動されています。各地区の

皆さんが安心して生活できるようにお手伝いします



越谷市民生委員・児童委員協議会 会長 白倉 誓治さん

知ってほしい 民生・児童委員のしくみ

会長・副会長を通じて民生委員全体としてのレベルアップを図っていますので、お困りのことがあれば、ぜひ民生・児童委員にご相談ください。



南越谷地区定例会の様子

民生・児童委員になられる方へ

民生・児童委員の活動が大変だと思われる方も多いでしょう。確かに、私が担当する地域でも、高齢化、核家族化が進み、子どもが多かった昔とは違った難しさが出てきていると感じています。しかし、困難なケースについては地区の定例会で相談できますし、高齢者への支援活動などについては、地域包括支援センターと連携することによって、活動を円滑に行うことができます。また、見守りが必要な方に「外に出てみよう」と思ってもらえるような屋外活動を、自治会の皆さんと協力して実施することで、私自身も楽しみながら活動することができています。

地域に住む方には、さまざまな家庭

平成28年度に越谷市の民生・児童委員に寄せられた相談および支援活動内容の内訳

区分	内容	件数	区分	内容	件数
内容別	在宅福祉	631	内容別	住居	109
	介護保険	240		生活環境	539
	健康・保健医療	473		日常的な支援	2,980
	子育て・母子活動	108		その他	4,803
	子どもの地域生活	554		計	11,722
分野別	子どもの教育・学校生活	655	分野別	高齢者に関すること	7,397
	生活費	233		障がい者に関すること	362
	年金・保険	80		子どもに関すること	1,503
	仕事	57		その他	2,460
	家族関係	260		計	11,722

問 福祉推進課 ☎ 963-99320

の事情があり、民生・児童委員一人で地域全体を把握することは難しい時代になってきています。また、災害などが発生したときは地域ぐるみで助け合う必要があります。一人でやりきろうとせず、自治会や地元の方々、行政と協力・連携しながら、長く活動を続けていきたいと思います。

民生・児童委員に相談したいときは

民生・児童委員は、地域の皆さんの立場に立って相談に乗り、悩みや心配ごとの解決に向けたお手伝いをしています。お困りごとがあれば、お気軽にご相談ください。お住まいの地域の民生・児童委員が知りたいときは、福祉推進課へお問い合わせください。

また、民生・児童委員の活動にご興味をお持ちの方も、福祉推進課にご相談ください。

救急医療情報キットとは？

万が一、119番通報する事態が起こった場合に、救急隊・病院が迅速に救急救命活動を行えるよう備えるものです。医療情報や健康保険証の写し、お薬手帳の写しなどを入れ、救急隊員がすぐに見つけられるように冷蔵庫に保管して使用します。

対象者は？

65歳以上の1人暮らしの高齢者または65歳以上の高齢者のみの世帯のほか、1人暮らしの障がいのある方や障がいのある方のみの方です。このほか、日中独居者など、生活上や健康上不安を抱える方も対象です。

どこで受け取る？

市役所の福祉推進課(第三庁舎2階)、障害福祉課(第三庁舎1階)窓口のほか、地域包括支援センターや老人福祉センターなどで無料で配布しています。また、各地区の民生委員から受け取ることもできます。

問 福祉推進課 ☎ 963-99320



救急医療情報キットをご利用ください

イベントへの参加を通じた地域交流／小・中学校との連携強化 梅まじりの模擬店、小・中学校との懇談会



左から菅副会長、松下会長、式場副会長

大袋地区民生委員・児童委員協議会(以下「大袋地区民児協」という)の活動について、大袋地区民児協の松下会長、式場副会長、菅副会長にお話を伺いました。近年の民生・児童委員は「ごども自習塾や学習支援など、自分たちで新しく活動しようという傾向が強まっている」と話す皆さん。活発な活動の様子を伺いました。

〈梅まじり模擬店〉

大袋地区民児協では、毎年3月に越谷梅林公園で開催される梅まじりに模擬店を出店し、手作りの小麦まんじゅうを販売しています。その収益は、社会福祉協議会の「愛の詩基金」への寄付などに充てられています。「街中で『今年もおまんじゅうをやるの』なんて声をかけてもらえてそこからいろいろ



梅まじりの模擬店は毎年盛況です

ろなお話ができます」と菅副会長。模擬店を出店することは、民生・児童委員活動のPRにも役立っていると式場副会長も続けます。

さらに、模擬店は民生・児童委員同士の親睦を図ることも一役買っているそうです。菅副会長は「準備が大変なんですけど、学生のころに戻ったように、皆でわいわい言いながら小麦まんじゅうを作るのはとても楽しいです」と言います。定例会やこうした交流によって気心が知れた間柄の仲間が増えることで、大変なこともある活動であっても続けていくことができると話していました。

〈小・中学校との懇談会〉

大袋地区は、小学校4校(大袋小・大袋東小・大袋北小・千間台小)、中学校3校(大袋中・北中・千間台中)と、市内13地区の中で最も学校の多い地区です。大袋地区民児協では、民生・児童委員と学校教員とで情報交換を行う懇談会を40年近く続けています。



懇談会では、活発な意見交換が行われます

児童・生徒の通学時などの見守りも行う民生・児童委員からは地域の様子や通学時の安全情報を、学校側からは学校の取り組みなどの情報を交換し合い、共通認識のもと、児童・生徒の問題解決に協力しています。「学校とのつながりを持つことが大切なので」と松下会長。小・中学校との連携強化と、児童の見守り活動を行う環境整備に尽力したことが評価され、埼玉県の平成29年度「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞することとなりました。

民生委員制度は今年で100周年

民生委員制度の歴史は古く、大正6年に岡山県で発足した「済世顧問制度」が起源とされています。笠井信一岡山県知事(当時)は、地域住民の中から「済世顧問」を委嘱し、顧問らが貧困者の相談に乗ることで、社会の貧困状況を把握し食い止めようとしました。



笠井信一氏

「済世顧問制度」は発足当時から、社会奉仕の精神を持った地域住民が行政と協力して生活に困っている人の手助けをし、社会をよくしていくという制度です。この精神は現代まで脈々と受け継がれ、民生委員制度は今年で100周年を迎えました。これを記念し、今年7月9日・10日の2日間にわたって開催された全国民生委員・児童委員大会には、天皇皇后両陛下ご出席のもと、全国から多くの民生・児童委員が参加しました。



全国大会には、越谷市からも民生・児童委員が出席しました